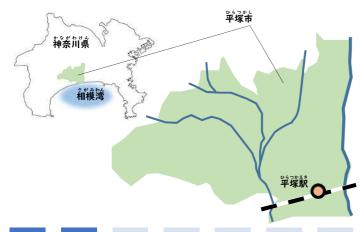
学家常総容計画~ひらつか~vīšīoň ひらつかのまちづく

ひらつかをより暮らしやすいまちにしていくための取組を紹介します



ひと

平塚市の人口は、25万8,422人(2020年国勢調査結果)で、 県内で 6番目に人口が多いまちです。東京都や横浜市などへ 通勤する人が多くいるけれど、周辺のまちからもたくさんの 人が市内のお店や工場へ働きに来ています。また、市内には 大学があり、若い人が多く暮らしています。

ド来このまちで暮らす人たちの年齢構成がどう変わっていくのか。次のページで紹介します。

文化のスポーツ

平塚市には、美術館、博物館、図書館、公民館などの施設があり、惟し物を楽しむことができます。また、総合公園にはレモンガススタジアム平塚(平塚競技場)をはじめ、バッティングパレス相右スタジアムひらつか(平塚球球場)、トッケイセキュリティ平塚総合体育館などがあり、平塚のスポーツの中心地となっています。

自然

平塚市の西部に位置する吉沢地区や土屋地区には、みどりがたくさん残されています。また、標高約180mの湘南平の 首、頂からは、相模湾や富士山、冬の晴れた日には東京スカイツリーを眺めることができ、豊かな自然を懲じることができます。市街地にも自然を身近に感じられる場所として、広い総合公園があり、第くの人に親しまれています。

まりち

平塚市は、神奈川県のほぼ中央、相模湾に厳した場所にあります。酸かくおだやかな気候に恵まれていて、東部には相模川、中央部には金曽川が流れています。都心から約60kmの 距離にあり、多くの人が通勤や通学で平塚駅を利用しています。

平塚市は、商業、工業、農業、漁業、そして観光がバランスよく発展しています。工業は、自動車関連を中心に、 相模別に浴って多く集まり、原内でもトップクラスの規模となっています。農業は、米やバラ、野菜などが生産されています。観光では、「湘橋ひらつか七野まつり」が全国的に有名で、70年以上の長い歴史があるお祭りです。

せいぞうひんしゅっかがくとう 製造品出荷額等

th ない 県内 **5** 位 ### **6** 位

ねんかんしょうひんはんばいがく 年間商品販売額

對 53 位

全国 116位

※出典:地域経済分析システム

「産業構造マップ(製造業)」「産業構造マップ(小売・卸売業)」

でいっか 平塚で採れる主な作物







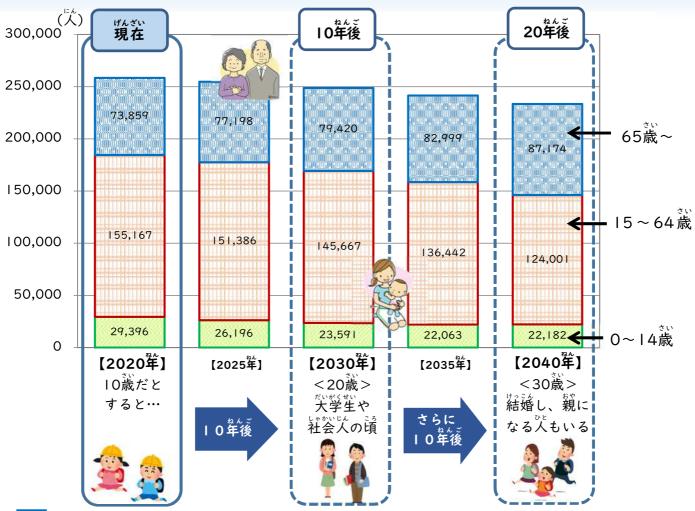








ひらっかし じんこう 平塚市の人口はどうなるのかな





65歳以上のお年寄り

現在は、『人口の約3割がお年寄り』なんだけど、これからはお年寄りがもっと増えます。 2040年になると『人口の約4割がお年寄り』になると予測されています。





15~64歳の主に働く世代

ばたら、ひと 働く人の数は、だんだんと減っていきます。





0~14歳の子ども世代

生まれる子どもの数も減り、子ども全体の数も減っていきます。





子どもやお年寄りに対する取組が必要だね。

※青い吹き出しは、「子どもワークショップ」に参加した中学生の意見



でいるかし かね っか 平塚市のお金の使いみち

市のお財布に入るお金

ぜいきん

国や県からのお金

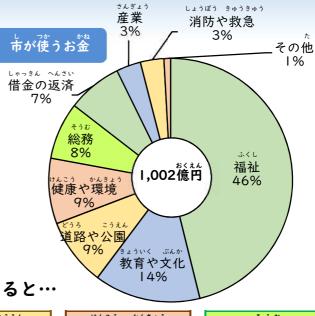
借りたお金など

and the f



平塚市のお財布

市が使うお金を市民一人あたりに置き換えると…





178,950符

教育や文化

がいる。 学校や図書館、公民 が能、スポーツ施設な



54,680취

道路や公園

道路や公園の整備や 管理などに



34,744円

けんこうかんきょう健康や環境

健康づくりやごみの ^{しょり} 処理などに



33,697취

そうむ総務

市で経済の管理や戸 大きのではなど、 「防犯 業務、交通安全、 「防犯 などに



29,418闩

借金の返済

着りたお金を返すた めに



28,228円

さんぎょう 産業

しょうぎょう。こうぎょう。の鳥商業、工業、農 ぎょう。ぎょぎょう。かんこうな業、漁業、観光などに



12,560円

消防や救急

がさい や 教 急 へ の 火災 や 教 急 へ の ^{たいおう} 対応などに



12,075管

その他

議会の運営や市内の を業績で働く人など のために

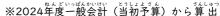


3,462취

合計

ひとり 一人あたり ^{ねんかん} 年間で

387,814円 使われています。









人口を増やすために、外から人を呼び込むのではなく、今住んでいる人たちが安心でき、住み続けてもらうようにするという**考えもあるね。





これからのまちづくり

ころどもを育む環境づくり

大人も子どもも、暮らしやすいまちにする



* ほう けっこん にんしん 希望する結婚・妊娠・ しゅっさん 出産ができるようにする



子どもと触れ合う時間が 増えるようにする



こ子どもが希望をもって せいちょう 成長する

かっき 活気あふれる産業づくり

こうじょう エ場やお店などを元気にする



かいしゃ がっこう いっしょ と 学校などが一緒に けんきゅう おうえん なった 研 究 を応援する



^{さまざま} しごと 様々な仕事につける ようにする



^{へんか} 時代の変化に合せられる ようにする

デジタル化・二酸化炭素を減らすための取組

デジタル化

- ●タブレット端末やデジタル教科書を使った授業をする
- ●バス路線で自動運転バスの実証実験を応援する
- ●ロボットなどを導入する農業を応援する

など

を減らすった。

- ●市の施設における再生可能エネルギーの利用や照明器具のLED 化を進める
- ●会社が進める二酸化炭素を減らす取組を応援する
- ●バス路線への電気バスの導入を応援する

など



じょん 自分たち (子ども世代) に対する取組だけでなく、将来に向けて働く人を確保する取組が必要だね。





お年寄りの想いに寄り添うまちづくり

お年寄りが元気で、安心して暮らせるようにする



お年寄りが元気に活やく できるようにする



みんなでお年寄りを支え られるようにする



しぶん 自分らしく暮らすための なてった お手伝いをする

あんしん あんぜん かいてき く 安心・安全で快適に暮らせるまちづくり

災害から身を守り、便利で暮らしやすいまちにする



お互い助け合い、災害か ら身を守れるようにする



*いき 地域ごとに必要な たせっ 施設を集めるようにする



生活の困りごとを かいけつ 解決できるようにする

など

その他の取組

- ●環境にやさしいまちづくりを進める
- ●ごみの少ない社会をつくる
- 障 がいがある人が活やくできるようにする
- ●平和や人権を大切にする
- ●様々な人が活躍する社会をつくる

- ●文化や芸術の活動ができるようにする
- ●誰もがスポーツを楽しめるようにする
- 消 防 · 救 急 体制を強化する
- ●犯罪や交通事故がない社会をつくる
- ●花とみどりがたくさんあるまちにする



字どもから、おじいちゃん、おばあちゃんまで、幸せで、敬心、敬堂に 春らす、そんなまちを将来に残していきたいです。





みんなが幸むに暮らしやすいまちにするためには、市後所や地域で活動する人たち、会社、それぞれが主後となり、みんなのうを合わせて、取り組んでいくことが必要です。

みんなにできることはなんだろう。



● ○電車やバスでお年寄りや身体の不自由な人に席をゆずろう

すいき がっこう おこな ぼうさいくんれん せっきょくてき さんか ○地域や学校で行う防災訓練などに積極的に参加しよう

○地震などの災害に備えて、水や 食 料 を用意しておこう

○ゴミは分別して捨てるようにしよう

○電気をこまめに消すなど、 省 エネルギーを 心 がけよう

○ 食 生活や運動など、健康づくりを 心 がけよう



○市の歴史や文化を学んでみよう

○平塚産の野菜や 魚 をいっぱい食べよう





あれっ!もっとむずかしいことかと覚っていたけど、 ぼくにも今すぐできることばっかりみたい。

本当ね!わたしにもできそうなことばかり。家族や地域の ひと 人たちと協力したら、全部できるんじゃないかしら。





「まちづくり」って、ぼくたちが思っていたより身近なものなんだ。 自分たちのまちのことをもっと知りたくなってきたね。



自分たちでできることは、自分たちで協力しながらやることが大事だね。





	**とな 大人になったら、何ができるか(したいか) 考 えてみよう!
e	







2024年3月 発行

平塚市企画政策部企画政策課

お問合せ先

〒254-8686 平塚市浅間町 9-1

電話 0463-23-1111 (代表)

E-mail:kikaku@city.hiratsuka.kanagawa.jp

本書の作成について

本市では、2024年2月に平塚市総合計画~ひらつか VISION~ を策定しました。

本書は、子どもたちがまちづくりへの興味や関心を高めるため のきっかけづくりを目的に作成したものです。